

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	17,103	△60.9	△10,879	ー	△10,797	ー	△8,717	ー
2019年12月期第3四半期	43,754	3.4	3,494	86.7	3,321	64.8	2,077	70.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △8,898百万円(ー%) 2019年12月期第3四半期 1,620百万円(102.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△182.76	ー
2019年12月期第3四半期	43.55	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	100,275	28,451	28.2
2019年12月期	99,343	37,404	37.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 28,274百万円 2019年12月期 37,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	ー	5.00	ー	5.00	10.00
2020年12月期	ー	0.00	ー		
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) TGU LLC、HNRB QOZB II, LP、除外 1社(社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期3Q	48,960,000株	2019年12月期	48,960,000株
2020年12月期3Q	1,259,834株	2019年12月期	1,259,834株
2020年12月期3Q	47,700,166株	2019年12月期3Q	47,700,166株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
(施行及び受注の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会活動及び経済活動が制限されたことから企業収益や雇用情勢において極めて厳しい状況となりました。第3四半期会計期間においては、緊急事態宣言の解除以降、個人消費が緩やかに持ち直しの傾向を見せているものの、収束の見通しが未だ不透明な状況下においては依然として予断を許さない状況となっております。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場並びにウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う訪日外国人数の激減、結婚披露宴開催時期の延期やキャンセルが増加し、総合フィットネスクラブにおいては会員様の休会・退会者数が増加し、当社グループの全セグメントにおいて多大な影響を受けることとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、17,103百万円(前年同四半期比60.9%減)となり、利益面につきましては、営業損失10,879百万円(前年同四半期は営業利益3,494百万円)、経常損失10,797百万円(同 経常利益3,321百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失8,717百万円(同 親会社株主に帰属する四半期純利益2,077百万円)と大幅な減収減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、結婚披露宴の延期やキャンセルが増加し、施行件数が3,082件(前年同四半期比65.5%減)と大きく減少したことにより売上高は減少いたしました。利益面についても、全社を挙げてコストダウン施策に取り組みましたが、セグメント利益も減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は10,305百万円(同63.4%減)、セグメント損失は4,515百万円(前年同四半期はセグメント利益4,801百万円)となりました。

② ホテル事業

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、訪日外国人数の激減に伴う宿泊売上の減少や宴会部門及びホテル婚礼に延期やキャンセルが増加したことに伴いホテル婚礼の施行件数が403件(前年同四半期比64.6%減)と減少したことにより売上高、セグメント利益ともに減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4,921百万円(同60.9%減)、セグメント損失は4,416百万円(前年同四半期はセグメント利益77百万円)となりました。

③ W&R事業

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により総合フィットネスクラブ「BEST STYLE FITNESS」4店舗において、会員様の休会・退会者数が増加したことから売上高、セグメント利益ともに減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,877百万円(前年同四半期比37.8%減)、セグメント損失は611百万円(前年同四半期はセグメント損失127百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ932百万円増加し、100,275百万円となりました。これは主に、「キンプトン 新宿東京」(東京都新宿区)の引渡しにより建物及び構築物が13,019百万円及び一時的な欠損による繰延税金資産の計上に伴い投資その他の資産の「その他」が2,311百万円それぞれ増加した一方、建設仮勘定の本勘定への振替に伴い8,284百万円、設備投資及び営業赤字の影響等により現金及び預金が7,382百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ9,884百万円増加し、71,824百万円となりました。これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が1,255百万円、買掛金が1,359百万円及び流動負債のその他が1,886百万円それぞれ減少しましたが、設備投資融資及び緊急融資により長期借入金が9,365百万円及び「キンプトン 新宿東京」の引渡しにより資産除去債務が2,187百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ8,952百万円減少し、28,451百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が8,956百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日に公表したとおり、現時点では、新型コロナウイルスの感染収束時期の見通しが未だ不透明な状況にあり、2020年12月期の通期の連結業績予想の数値については合理的な算定が困難なため、未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルスの感染の動向を見極めながら、連結業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,347	20,965
売掛金	1,259	554
有価証券	2,455	1,224
商品	116	112
原材料及び貯蔵品	530	491
その他	1,389	2,484
貸倒引当金	△22	△25
流動資産合計	34,076	25,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,199	35,218
土地	9,574	11,358
建設仮勘定	9,837	1,552
その他（純額）	1,909	2,346
有形固定資産合計	43,520	50,477
無形固定資産		
のれん	1,475	2,153
その他	195	623
無形固定資産合計	1,670	2,776
投資その他の資産		
投資有価証券	6,721	5,691
敷金及び保証金	8,451	8,198
その他	4,964	7,275
貸倒引当金	△213	△100
投資その他の資産合計	19,925	21,065
固定資産合計	65,115	74,318
繰延資産	151	149
資産合計	99,343	100,275

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,298	938
短期借入金	—	1,352
1年内返済予定の長期借入金	4,617	3,989
1年内償還予定の社債	668	668
未払法人税等	1,275	19
前受金	2,442	3,374
その他	6,557	4,670
流動負債合計	17,859	15,012
固定負債		
社債	5,157	6,113
長期借入金	34,209	43,574
退職給付に係る負債	303	394
役員退職慰労引当金	831	862
資産除去債務	2,412	4,599
その他	1,167	1,268
固定負債合計	44,080	56,811
負債合計	61,939	71,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	37,937	28,981
自己株式	△892	△892
株主資本合計	38,151	29,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△72	12
繰延ヘッジ損益	△504	△596
為替換算調整勘定	△163	△330
退職給付に係る調整累計額	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	△747	△920
非支配株主持分	—	176
純資産合計	37,404	28,451
負債純資産合計	99,343	100,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	43,754	17,103
売上原価	29,220	18,070
売上総利益又は売上総損失(△)	14,534	△966
販売費及び一般管理費	11,039	9,912
営業利益又は営業損失(△)	3,494	△10,879
営業外収益		
受取利息	58	115
匿名組合投資利益	153	154
不動産賃貸収入	183	26
助成金収入	0	585
その他	119	165
営業外収益合計	515	1,048
営業外費用		
支払利息	336	320
不動産賃貸費用	156	38
有価証券運用損	12	362
その他	183	245
営業外費用合計	689	966
経常利益又は経常損失(△)	3,321	△10,797
特別利益		
固定資産売却益	23	0
子会社株式売却益	207	—
貸倒引当金戻入額	—	197
その他	—	13
特別利益合計	230	211
特別損失		
固定資産除却損	6	12
店舗閉鎖損失	71	43
減損損失	19	102
投資有価証券評価損	—	145
関係会社株式評価損	—	110
その他	16	79
特別損失合計	113	492
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	3,438	△11,077
法人税等	1,391	△2,356
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,046	△8,721
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,077	△8,717

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,046	△8,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	85
繰延ヘッジ損益	△295	△91
為替換算調整勘定	△95	△118
退職給付に係る調整額	△1	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△52
その他の包括利益合計	△425	△176
四半期包括利益	1,620	△8,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,651	△8,890
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、グロリアブライダルジャパン株式会社及びその子会社2社の株式を取得したことにより、同社及びその子会社4社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を2020年9月30日としているため当第3四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに設立したTGU LLC及びHNRB QOZB II, LPを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の収束時期について、現時点では予測することが困難であります。当社グループのうち主力である国内婚礼事業では当第4四半期(10月頃)から徐々に集客数・受注数が回復し、また、ホテル事業につきましては翌第2四半期(4月頃)から徐々に宿泊稼働率が回復することを前提に、繰延税金資産の回収可能性の判断、固定資産の減損判定等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、更なる感染拡大により社会活動及び経済活動が停滞する事態となった場合、翌連結会計年度の当社グループの財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,137	12,598	3,018	43,754	—	43,754
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,112	242	11	1,366	△1,366	—
計	29,250	12,841	3,029	45,121	△1,366	43,754
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,801	77	△127	4,751	△1,256	3,494

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,256百万円には、セグメント間取引消去97百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,353百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「W&R事業」セグメントの一部の固定資産において収益性が低下した状態が続いており、当第3四半期連結累計期間において投資の回収が見込めないと判断したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額19百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,305	4,921	1,877	17,103	—	17,103
セグメント間の 内部売上高又は振替高	443	109	8	561	△561	—
計	10,748	5,031	1,885	17,665	△561	17,103
セグメント損失(△)	△4,515	△4,416	△611	△9,544	△1,334	△10,879

(注) 1. セグメント損失の調整額△1,334百万円には、セグメント間取引消去47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,381百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「婚礼事業」セグメントの一部の固定資産において収益性が低下した状態が続いており、当第3四半期連結累計期間において投資の回収が見込めないと判断したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額102百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「婚礼事業」セグメントにおいて、グロリアブライダルジャパン株式会社及びその子会社2社の株式を取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社及びその子会社4社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において864百万円であります。

3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

(1) 婚礼施行実績

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	8,923	3,082	12,385
ホテル事業	1,139	403	1,611
合計	10,062	3,485	13,996

(2) 婚礼受注状況

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)		前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)
セグメントの名称						
婚礼事業	9,373	7,569	3,462	6,898	11,784	6,518
ホテル事業	1,210	1,250	597	1,225	1,463	1,031
合計	10,583	8,819	4,059	8,123	13,247	7,549